

”地図を創る”という新しい 防災。



世界では毎日様々な災害が起き、被災者の数は年間2億人、死者数は10万人にも及んでいます。

皆さんは、この莫大な数の人々が巻き込まれる災害がどのような場所で起きているのかを考えたことがありますか？

その多くは、「地図に反映されていない地域や場所」なのです。

そう、地図に載っていない地域の人々は災害弱者になり得るのです。

このプロジェクトは誰もが、そんな人々を救うことができる機会なのです。

パソコンとネット。 必要なものは2つだけ。

地図を創ると言っても実際に現場を歩き、紙とペンで地図を書くわけではありません。インターネットに繋がっているパソコンさえあれば誰もがマッピングを始めることができます。そして、航空写真の上から建物や道路をなぞるだけで、あなたの作業が世界中に共有されます。皆さんが造ったその地図をもとに多くの人道支援団体が災害救助に尽力します。

このMissing Mapsプロジェクトでは、OpenStreetMapと呼ばれるウェブ地図システムにあなたが航空写真を元に建物や道路を書き込んでいきます。そして、皆さんの創った地図情報や変更はすぐに世界中に反映されます。これらの情報は災害時に迅速に共有され、どの道路が通れなくなったのか等の、被災地のイマを伝える貴重な情報になるのです。仕組みは明確でシンプル。誰もが始めることができます。

革新的で合理的な防災。 マッピングとは。

マッピングを始める、 絶好のプロジェクト。

世界にはまだまだ詳細な地図が作られていない地域がたくさんあります。そんな場所で災害や感染症が起きたらどうなるでしょうか？マッピングは従来の防災ボランティアとは大きく異なります。いつでもどこでも、楽しくみんなで自由に地図を創る、それが我々の目指すマッピングです。Missing Mapsプロジェクトは、マッピングに興味を持ったあなたが多くの仲間とマッパーになる絶好の機会でもあるのです。

主催 / 協力



Humanitarian
OpenStreetMap
Team



American
Red Cross



British Red Cross



青山学院大学



AOYAMA VISION
古橋研究室



Let's jump to
Furuhashi Lab. Blog for Mapping

マッピングとプロジェクトについてもっと詳しく学ぶ